

研究時，製品開発時に必要な 特許・技術調査について

鈴木利之特許事務所
弁理士 鈴木利之

この講演の性格

特許・技術調査は、きちんとやろうとすると大変難しいものです。しかし、普通は、どこが難しいかもわからないし、どこで悩んでよいかもわからないものです。この講演では、個別の調査知識というよりは、どんなことに悩んで欲しいかを実例を交えてお話ししたいと思います。

特許・技術調査の性格

仕事としての特許・技術調査の性格を
考えてみます。

仕事の一般的な性格として、知識型と
経験型とに分けることができます。

知識型の仕事

仕事の性格

- 教えてもらえばできるようになる。
- マニュアル化できる。
- 誰がやっても結果が同じになる。

仕事の例

- 出願審査請求書の作成
- 特許出願の経過の調査
- パテントファミリーの調査

経験型の仕事

仕事の性格

- 話を聞いただけではうまくできない。
- マニュアル化できない。
- 人によって結果が異なる。

仕事の例

- 特許出願の明細書の作成
- 特許・技術調査

経験型における創造型

創造型の例…特許出願の明細書作成

仕事の性格

- 今までに存在しないものを創る仕事である。
- ビギナーズラックはない。
- 出来上がった仕事だけで結果を評価できる。

経験型における協調型

協調型の例…特許・技術調査

仕事の性格

- すでに存在するものが相手である。
- ビギナーズラックがある。
- 仕事のプロセスの良し悪しは評価できるが、仕事の結果を評価するのは難しい。…正解が分からない。

調査をするかしないか

特許・技術調査をする上で、最初に考えるべき問題は、調査をするか、しないか、です。

調査をしない、という選択肢はあり得る、と思います。

調査をするならば

- Why …調査目的は何か
- When …いつ調査するか
- Who …誰が調査するか
- How …調査ツールと調査テクニック
- How much …コストをいくらかけるか

調査目的は何か

- 研究開発のヒントはないか
- 同じ発明は存在するか
- 権利侵害のおそれのある特許はあるか

いつ調査するか

- 研究開発前あるいは開発中
- 研究開発の完成後
- 製品化の段階

誰が調査するか

- 技術担当者
- 知的財産部
- 社内の調査専門家
- 外部に依頼

調査ツール

基本的にコンピュータを用いてデータベースを検索することになります。

- 無料の特許電子図書館
- 日本特許文献に関する各種の有料のデータベース
- 外国特許文献のデータベース
- 非特許文献のデータベース

コストをいくらかけるか

調査をする前にコスト(所要時間と実費)を決めるのが好ましい。

調査技術の習得について

特許・技術調査は、経験型(話を聞いただけではうまくできない)で、かつ、協調型(正解が分からない)なので、上達するには、複数人と一緒にやるOJT(On-the-Job Training)が効果的です。社内に適当な教育環境がないときは、外部の研究会に参加するなどチャレンジしてみてください。